

首里三箇堀探訪

首里城の南側に位置する首里三箇は、水量豊富な地として、酒造りに欠かすことのできない井泉(カーヒージャー)や水にまつわる御嶽などがあります。「ヒジガーピラ」のルートを歩きながら、三箇の香りを感じてみませんか。

！継世門(けいせいもん)
首里城の東側外郭の門で一九九八年に復元。赤田に面していたことから「赤田御門(ウジヨウ)」とも呼ばれていました。



！継世門(けいせいもん)
上する若水が汲まれた井泉のひとつ。巳の方角(南東南)が吉方の年の元旦に献上されました。



■崎山公園
崎山公園は閑静な住宅街の中にある御嶽や樋川などが立地する公園です。高台からの眺望も良く、地域住民による植樹祭が行れるなど、市民に親しまれる歴史と自然に囲まれた公園として活用されています。
※植樹祭では、沖縄県緑化推進委員会の「緑の募金」が活用されました。



崎山公園の植樹祭



#崎山御嶽(さきやまみこ)

崎山町の御嶽。波上宮を建設した崎山里主の住居跡を、死後その徳を称えて御嶽としたと言われます。拝殿は石造りのアイチ門でしたが沖繩戦で破壊されたため、現在ではコンクリート造りになっています。

！雨乞御嶽(あまごいうたき)
かんばつの際、国王自ら神女と共に雨乞いの儀礼を行なった場所。石垣で丸く囲まれた聖域となっています。御嶽周辺は眺望も良くかつては「首里八景」としても讃えられていました。



%御茶屋御殿(ウチャヤドワン)の石造獅子
御茶屋御殿の一角にあった獅子。火難をもたらすと考えられた八重瀬岳八重瀬町富盛に向けていました。崖崩れの恐れが生じたので現在の場所に移されました。



&儀間真常(ぎまじょう)の墓
儀間真常は、沖繩でサツマイモや砂糖の栽培、製造法の普及といった沖縄産業の振興に尽力した人物。墓は那覇住吉町にありましたが、戦後、一帯が米軍港となったため、崎山の地へ移転してきました。



！ヒジガーピラ、ヒジガー橋
ヒジガーピラは首里から南部へいく王国時代の主要路のひとつ。琉球石灰岩の石量道が残されており、往時は道の両側に松が植えられていました。ヒジガー橋は一七三三年頃に造られた石橋で、金城ダムの開発の際にはこの貯水池が造られました。



ヒジガー橋は首里から南部へいく王国時代の主要路のひとつ。琉球石灰岩の石量道が残されており、往時は道の両側に松が植えられていました。ヒジガー橋は一七三三年頃に造られた石橋で、金城ダムの開発の際にはこの貯水池が造られました。



みるくの恩恵を受ける親子(赤田のみるくウンケー実行委員会提供)



戦前の御茶屋御殿(沖縄県立図書館蔵) 宮里朝光さん

御茶屋御殿(ウチャヤドワン)
御茶屋御殿は一六七七年に造営され、一六八三年に渡来した中国の使者・冊封使汪樞(さつほうしゅうしゅ)によって「東苑」と中国名を名付けられました。識名園(南苑)と共に、冊封使や薩摩の在番奉行などの款待に利用された施設で、風光明媚な地であったことから、多くの文章・漢詩・琉歌・和歌が残されています。また、琉球国王が遊覧した際には、管弦の宴などが催され、茶の湯・立花・囲碁・音楽・舞踊・武芸など、文化の発信地でもありました。沖繩戦の時に建物は爆風で飛ばされ、一九四九年には現在の首里カトリック教会が建立されています。
一九九七年、御茶屋御殿の復元保存を目的に、市民の有志により御茶屋御殿復元期成会が結成。復元の事業化に向けて要請活動が行われています。復元は民間団体だけでなく、行政側の協力が重要。行政とも手を取り合って実現させていきたい」と宮里朝光会長。識名園に比べたら小振りだが、文化芸能の奨励という点では重要な場所。復元後の活用についても多くの方と知恵を絞って検討したい」と、広がる夢を語っていただきました。



友寄賢吉さん 照屋寛孝さん 会長と復興に携った友寄賢吉さんは、みるくウンケーは町民の誇りであり、担い手の子ども達のためにも様々な場所でPRしていきたい」と力強く語っていました。

！赤田のみるくウンケー
赤田のみるくウンケーは旧暦七月十五日に家庭円満、無病息災を祈願し、弥勒が赤田町内をスネーイ(行列)する伝統行事です。かつてはみるく石川家(一)から出発していたそうです。わらべ歌「赤田首里殿内」に歌われるほど親しまれていましたが、昭和初期に途絶えていました。一九九二年の首里城復元を契機に、古老へのヒアリング調査等を経て、一九九四年、約六十年ぶりに復興されました。
赤田のみるくは、頭から被る面を付け、振ると鳴る錫杖と唐靴の身なりに、路次菜を率いて行列する点など、他地域には見られない特徴があります。現在は旧盆前後の日曜に盆踊りと連携して行われ、スネーイには多くの子供たちが参加し、沿道には路次菜に誘われた近隣の人々や観光客がみるくの恩恵を受けようと集まります。
赤田のみるくウンケー実行委員会の照屋寛孝



(弁ヶ嶽(へんがだけ) 弁ヶ嶽は、那覇市で最も高い場所(一六五・七メートル)にある国王の祈願所。大小二つの拝殿があり、大嶽は久高島、小嶽は斎場御嶽(せいふあうたき)への遷拝所として神聖な御嶽でした。現在、鳥堀町の自治会が清掃や管理を行っています。